卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本日、多くの保護者の方々に来ていただき、こうして第72回卒業式を行えることを、本当にうれしく思います。本日は、各ご家庭から、この式場にお一人様の参列でお願いしております。第二会場といたしまして北館2階のホームルーム教室をご用意しております。式典の様子は、ライブ中継で大型モニターに映します。

例年と違う形態で、何かと不都合もあるかと思いますが、ご理解していただきますよう、よろしくお願いいたします。

先ほど、卒業生一人ひとりに卒業証書を授与いたしました。9年間の義務教育を終了したという証明書です。卒業証書の日付は令和3年、2021年、3月16日。2021年は、東日本大震災からちょうど10年目にあたり、当時の事を振り返った特集が多く報道されています。

2020年、新型コロナウイルス感染症が世界中に広がりました。皆さんは義務教育の最後の1年間、例年の3年生には無い学びを体験することになりました。「国が緊急事態宣言を発令する」出来事は、皆さんにとっても保護者の方々にとっても、生まれて初めての体験だったと思います。2ケ月余りの間、生徒がいない学校で、桜の花は美しく咲き、やがて散り、新緑が芽吹き、季節は移り変わっていきました。当時、「生徒が誰もいないと、たくさんのカラスが集まってきます」と学校連絡メー

ルを送りましたら、保護者の方が大変驚いておられたことを覚えています。

6月15日に学校が再開されて、以前とは違うけれど、少しずつ日常は戻りました。私は、グラウンドでサッカーをしたり、教室でノートをとっている皆さんの姿を見て、「学校で生徒が活動している」ことに感動しました。今でも授業風景を見ていると当時のことが思い出されて胸が熱くなります。

私は皆さんが入学した時から、ともに3年間を過ごしてきました。皆さんが頑張っていた姿や、成長をしていく姿を身近に感じることができた思い出深い3年間でした。9月の体育大会で、3年生が披露した団体演技は、本当に素晴らしかったです。10月の一日体験学習を思い切り楽しみ、12月にはマスク着用・リモート開催など特別な形で合唱発表会を行いました。困難をのりこえて、精一杯歌っていた皆さんの合唱は心に響くものでした。「感染症対策で減ってしまったからこそ、残された学校行事を大切にしよう」という姿勢があらわれていました。その他にも、生徒会や委員会活動、部活動で先輩として、1・2年生に多くのものを残してくれました。

この1年間は皆さんにとって、かけがえのない大切な1年でした。

皆さんは「大切なものは何か」について多くの時間を費やして考えました。

休校期間、一番したかったことは友達と会って話すこと。
休校期間に気付いたことは、毎回食事の用意が大変だという事。親に感謝する気持ちが芽生えたり、自分で作るようになった人もいましたね。
学校再開のあとは、時には楽しみ、時には悩みながら、「新しい生活様式」に柔軟に適応して、学校生活を送っていました。
皆さんは本当に、この1年、頑張りました。

やがて、現代医学の力で、今猛威を振るっている感染症はある程度はコントロールされていくでしょう。
そして再びグローバル化の波がやってきて、地球規模での資本や情報のやり取りが行われるでしょう。世界は「豊かなモノに囲まれて、便利さを追求する」方へ走り出すかもしれません。そのとき、皆さんにはぜひ、人とのつながりを大切にして、思いやりのある世界を作っていって欲しいと思います。

最後にこれまで、楽しいときも落ち込んだ時も変わらず見守ってこられたご家族の皆さま、本日はご卒業おめでとうございます。これまで保護者の皆さまから本校の教育活動に寄せられましたご理解とご協力に対して、教職員一同厚くお礼申し上げます。

以上をもちまして、祝辞といたします。

令和３年（２０２１年）３月１６日

豊中市立第二中学校　校長　田中明美